

## 第 60 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)	ミカムロ/ミカルデイス	中外製薬 (株)	ノイトロジン
第一三共 (株)	ネキシウム	大日本住友製薬 (株)	アバプロ
(株) ジェイ・エム・エス		興和 (株)	リバロ
大塚製薬 (株)	ムコスタ	大塚製薬工場 (株)	エルネオパ
塩野義製薬 (株)	オキファスト	シーメンス・ジャパン (株)	Biograph mMR
大鵬薬品工業 (株)	アロキシ	武田薬品工業 (株)	アジルバ
田辺三菱製薬 (株)	レミケード	(株) ツムラ	六君子湯
(株) ヤクルト本社	カンプト 他		

(ABC 順)

## 編集委員会

編集長：並 木 温

編集委員：金子弘真 佐地勉 杉山篤

周郷延雄 高橋寛 高橋啓

津熊久幸 瓜田純久 (ABC 順)

## 編集後記

この原稿を準備している最中、4月20日午前8時2分(日本時間午前9時2分)に、四川省雅安市芦山県でマグニチュード(M)7.0の地震が発生した。現地時間の午前11時35分時点で死者37人が確認され、今後死傷者が増える可能性があることが報じられている。この地は、前任地の大学研究室で数年間、研究生活を共にした朱 氷梅先生(現・南京中医薬大学・教授)のご出身地である。カメラマンで来日時には日本薬理学会関東部会の抄録集に掲載した表紙写真をご準備下さった朱先生のお父様やご家族の安否が気になる。被害が最小限に食い止められることを祈念する。

さて、今回、お送りした第60巻第3号はいかがだったでしょうか。今回は略歴・送辞6編、最終講義1編、投稿論文(原著)1編、特別講演(総説)1編、連載(巻頭言、世界の研究室から、学会参加記、教室紹介、論評 各1編)である。いずれも力作だ。会員皆さまのご協力と事務局の尽力のおかげで今回も順調に編集を進めることができた。今後とも積極的な投稿をよろしく願いたい。

今、多くの国内学会の学術誌で原著論文の投稿数が減少しており、雑誌の存続にも関わる由々しき問題に発展しつつある。Impact factorが重視されてきたことが1つの原因と推測され、国内の学会誌ですら、すべて英語化するものも少なくない。しかし、日本人にとってはやはり日本語の

論文が読みやすく、多くの読者に読んで欲しい総説、学会記録、活動報告などは日本語の方が望ましいと思う。また、すべての論文を外国雑誌に投稿する必要はなく、種々の基礎的・臨床的研究でその雑誌の購読者層に有用な知識を与える論文、症例報告などは国内誌の方がふさわしい場合もあるはずである。このような情勢の中で、東邦医学会雑誌が今後も、多くの方の論文の発表の場となるように期待している。

(杉山 篤)

## 東邦医学会雑誌 第60巻 第3号

平成25年5月1日発行

編集兼  
発行人 並 木 温〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号  
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎